

平成24年度 台東区の施策と予算編成に関する要望書を10月28日、吉住区長に提出いたしました。



吉住区長に要望書を提出する公明党台東区議団
(左から 寺田区議、小坂区議、清水区議、吉住区長、小菅区議、松尾区議)

予算要望として、区民の生活を守り、福祉の向上を推進する施策を展開する必要性から

1. 安全・安心のまちづくりを視点に「防災・防犯対策」の強化
2. 孤立から支えあいの社会への総合的な対応策の強化
3. 安心して子どもを預けられる多様な保育サービスの提供など子育て支援対策の強化

など、全168項目の実現を求めました。
吉住区長は「参考にし、前向きに取り組む」と述べました。

<区長答弁>

- (1) 事業目的達成のため、民間委託の効果性や効率性等、十分見極め必要に応じ業務委託を活用してきた。また、民間委託を進めるなかで、プロポーザル方式を導入し、改善に努めてきた。今後も多様な区民ニーズに応え、財源や人的資源を有効活用し、効果的・効率的な行政経営に努めて参りたい。
- (2) 常時、企業情報専門会社から収集を行っており、事業者が倒産するような場合、契約解除や新たな委託先の選定など、迅速な対応に努める。

4. 補助金・助成金について

- (1) 団体補助と事業補助を二重に配分している団体があるが、今後どう見直していくのか。
- (2) 補助金・助成金の適正化に向けた取組み姿勢について伺う。

<区長答弁>

- (1) 団体補助と事業補助の定義の明確化や、より効果的な検証方法について検討を行っている。
- (2) 今年度中に指針を作成し、補助金の適正な執行に向け、精力的に取り組む。



松尾伸子議員による総括質問

1. 防災対策について

- (1) 災害弱者のための防災対策が必要と考える。初期消火の補助として簡易消火剤を紹介するなど、意識の向上を図るべきと考えるがどうか。
- (2) 備蓄品について保管されている場所や品目・数量等、今以上に広報を行い、意識啓発を図るべきである。またオストメイトのストマ装具について、不可欠なものとして備蓄倉庫等で預かり、保管すべきと考えるがどうか。

<区長答弁>

- (1) 高齢の方など、軽量で取扱いが容易であるなど利点もあるので、個人住宅向けに、消火器の補助器具として紹介する。
- (2) より一層の周知を図り、防災意識の向上に努める。またストマ用装具の保管については、今後、研究を進める。

2. 不登校児童・生徒への支援について

「ふれあいパートナー派遣事業」の実績を上げるため、不登校児童・生徒へのアプローチや周知の工夫が必要と考えるがどうか。またパートナーについて不登校を経験した方など幅広く人材を募集すべきと考えるがどうか。

<教育長答弁>

事業の内容を学校や保護者に積極的に周知することを含め、一層有効に活用し、不登校問題の解決を図ってまいります。ふれあいパートナーの募集条件について、今まで以上に知識と経験があり、児童・生徒の変化を的確に見取ることを出来る方の採用を検討する。

定例会便り 第3回定例会より

● 携帯電話へ災害情報等のメール配信を始めます

区内でNTTドコモの携帯電話をご利用の方に11月1日から災害情報等の配信（エリアメール）を始めます。詳しくは、区のホームページをご覧ください。

● 平成24年4月保育所入所申込の受付について

受付期間：平成23年11月7日～平成24年1月6日。受付場所：区役所6階（7番窓口）児童保育課・保育相談。

● 平成24年4月こどもクラブ入会の受付について

受付期間：平成23年12月1日～平成24年1月13日。受付場所：入会を希望する各クラブ。

● 大浅草観光祭について（期間：平成23年11月1日～平成24年5月31日まで）

<開催概要>

- (1) 平成中村座公演 期間：平成23年11月～平成24年5月の7ヶ月間。場所：台東区立隅田公園 山谷堀広場。
- (2) 浅草奥山風景と平成小判の賑わい 期間：平成24年3月10日～5月6日。場所：浅草寺本堂西側、仲見世。
- (3) 三社祭700年祭『船渡御』 期間：平成24年3月17日～18日。場所：浅草寺、浅草神社、浅草全域、隅田川。
- (4) 平成中村座から光の道イベント 期間：平成23年11月～平成24年5月。場所：平成中村座前、待乳山聖天から一葉桜通りなど周辺地域。

台東区議会第3回定例会（9/12～10/24）が終了しました。



区議会公明党を代表して、寺田 晃議員が9月21日に一般質問を行いました。
ここで、質問と区長答弁の要旨をご紹介します。

寺田晃議員による一般質問

1. 稼働年齢層の生活保護者に対する新たな支援策について

「孤立社会」から「支え合い」の社会を目指し、「台東方式」と言われるような新たな就労支援、自立支援プログラムを構築すべき。

<区長答弁>

自立支援プログラムの評価・検証を行い、他自治体の事例を参考にしながら、きめ細かな支援をすすめる。

2. 若者に対する新たな就労や自立支援について

高校生や大学生の就職は大きな課題となっている。若者向けの就労支援、自立支援について充実を図るべき。

<区長答弁>

今後とも、就労支援事業をより多くの若者に利用していただけるよう一層のPRに努める。

3. 災害に強い街づくりのための防災対策について

- (1) 防災カードの進捗状況について。
- (2) 「被災者支援システム」の導入について。
- (3) マンションや高層住宅に対する自主防災マニュアルの作成について。
- (4) 防災対策の大幅な見直しが必要と考えるが。

<区長答弁>

- (1) 携帯用のカードとして添付し、11月目途に全世帯に配布できるよう準備を進める。
- (2) 国と都の内容を精査し、より利便性に優れたシステムを導入すべく検討を進める。
- (3) 都と連携し、高層住宅用の「防災ハンドブック」の作成など支援策を検討する。
- (4) 平日や夜間を想定した訓練の実施について検討する。

4. 新たな省エネならびに節電対策について

今後、本区の省エネ・節電対策をどのように進めるのか。

<区長答弁>

一般家庭や中小規模事業所に対する省エネルギー機器の導入助成の件数を拡大する。

5. 旧東京北部小包集中局跡地の利用について

今年度実施する基礎調査の内容と今後の見通しについて伺う。

<区長答弁>

区民の皆様へのアンケート調査や民間事業者の意向調査を実施し、結果を踏まえ、更に検討を加え、様々な観点から、活用について一定の方向を示してまいります。

決算特別委員会（9/20～10/24）が終了しました。



10月12日、総括質問が行われ、決算委員である小菅・小坂・松尾議員の質問並びに区長・教育長の答弁の要旨をご紹介します。

小菅千保子議員による総括質問

1. がん対策について

本区のがん検診において、前立腺がん検査であるPSA検査を実施すべき。

<区長答弁>

他区の状況を考慮しつつ、国などの研究や見解等踏まえ、検討する。

2. 妊娠に関する支援について

- (1) 本区独自の不妊治療助成の実施について。
- (2) 不育症についての情報提供や治療の経済的負担軽減の支援について。
- (3) 妊婦向け配信サービスの実施について。

<区長答弁>

- (1) 他の自治体における助成制度の状況を踏まえ、実施方法等、検討する。
- (2) ホームページなど活用し、情報提供を行う。助成について国の状況等踏まえ、検討する。
- (3) 実施している自治体での状況等、研究する。

3. マンション管理支援策について

自主活動を支援する交流会の発足、情報誌の提供、大規模改修工事に対する助成など支援策の拡充を図るべき。

<区長答弁>

現在、グループ相談会等の実施、アドバイザー派遣、計画修繕調査費助成等、融資あっせんによる利子補給を行っている。大規模改修工事助成については研究する。情報誌の発行などについて、既存事業の拡充含め取り組んでいく。

4. 児童・生徒の「体力向上策」について

1日1時間でも子供が体を動かせるような取組みについて伺う。

<教育長答弁>

幼・小・中の発達段階に応じて一貫した体力向上を念頭に置いた保育や授業の充実、体育的行事の工夫等図る。また、学校・園と家庭・地域が一体となって体力向上に取り組んで参りたい。

5. 放課後子ども広場について

- (1) 「こどもクラブ」との連携を一層図り、地域の力を得て実施することにより、コストの削減が図れると考えるがどうか。
- (2) 地域の協力を得ながら、放課後子ども広場を拡充させることが放課後対策を強化し、児童の健全育成に資すると考えるがどうか。

<教育長答弁>

- (1) 効率的効果的な運営を図り、コストの削減に努めるとともに、プログラムの見直しなど一層より良い環境づくりを進める。
- (2) 放課後子ども広場事業の運営方法や、プログラムの見直しの結果も検証しながら、実施方法等について検討する。



小坂義久議員による総括質問

1. 財政について

今後の景気循環をどのように想定し、どのような財政運営を図っていくのか。また平成24年度の予算編成にどのように反映していくのか。

<区長答弁>

先行きが不透明な状況が続くものと予測し、生活保護費など扶助費の増加、進展する少子高齢化への対応など、引き続き健全な財政運営を推進する。来年度の予算編成は、事務事業の必要性、有効性など検証し、配分の重点化・効率化を全職員に指示した。

2. 指定管理者制度について

- (1) 使用料収入と管理委託料のバランスについて、どのような対策を講じるのか。
- (2) 今後の制度の活用に関する基本的な考え方を伺う。

<区長答弁>

- (1) 施設運営に関する現状分析と課題の整理を行い、使用料収入の増加と委託料の縮減に向け改善に努める。
- (2) 個々の施設の特性を検討し、民間事業者のノウハウの活用によるサービスの向上、経費縮減が見込める施設について制度を活用して参りたい。

3. 民間委託について

- (1) 様々な民間委託が行われているが、内容や結果、どう効率的に運営されているのか、改善すべき点など、今後のあり方について伺う。
- (2) 本区でも委託先の事業者が契約不履行になったケースがあったが、委託先事業者の経営状況を常に把握すべきと考えるがどうか。